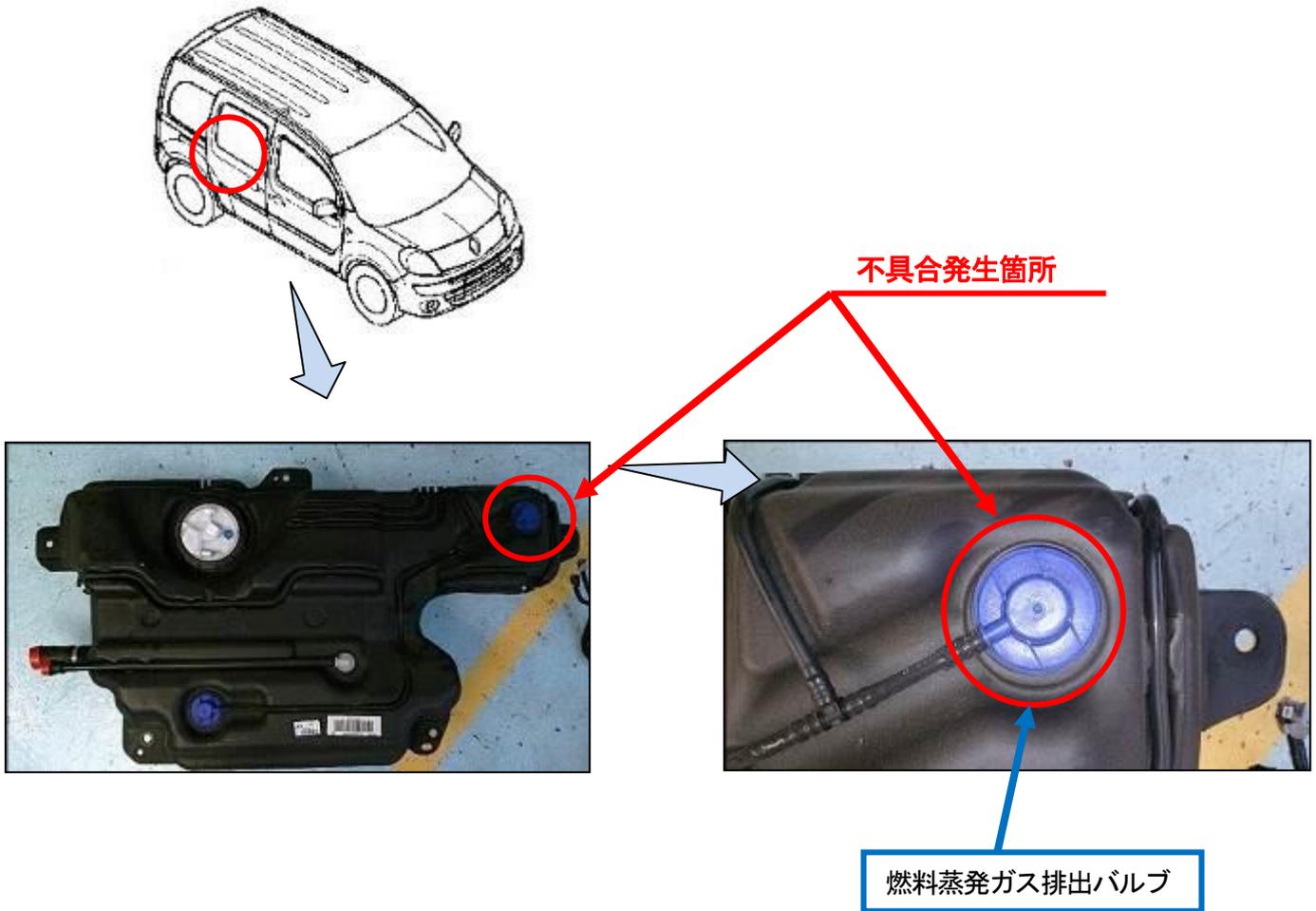


改善箇所説明図

① 燃料タンク



燃料タンクに2ヶ所装備されている、燃料蒸発ガス排出バルブの一方において、取付位置が不適切なため、燃料満タン時に、振動により当該バルブ内へ燃料が浸入すると、燃料タンク内の内圧によって当該バルブを通して燃料が漏れ出るおそれがある。

注: は不具合部品を示す。

改善措置の内容

全車両、当該燃料蒸発ガス排出バルブを廃止し、タンク容量を減らした燃料タンクに交換する。

識別

ルノー社指定ステッカーの E3 欄に油性インキにて「×」印を記し、原動機室内に貼付する。

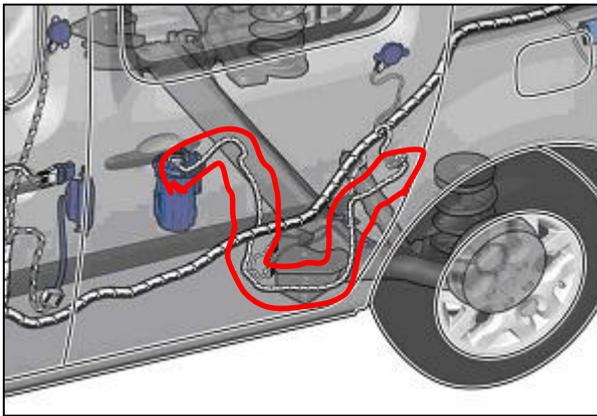
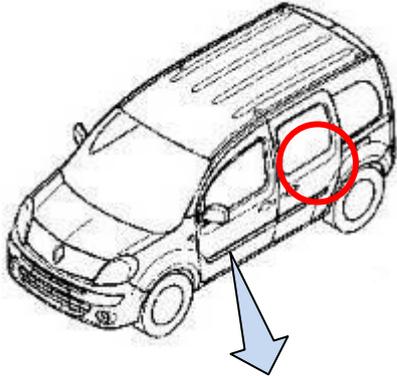
ルノー社指定ステッカー :

寸法: 縦 7cm、横 7cm
色: 青地に黒字で印刷

	1	2	3	4	5	6
A						
B						
C						
D						
E			×			

改善箇所説明図

② 燃料ポンプ配線



燃料ポンプコネクタ

燃料ポンプ配線において、車両配線の長さが不適切なため、燃料ポンプ側のコネクタと車両配線側のコネクタとの接続が不完全となることで発生する摩耗により導通不良となり、コネクタのプラスチック部分を溶解させたり、エンジンに燃料を供給できずに始動できない、または、走行中にエンストするおそれがある。

注: は不具合部品を示す。

改善措置の内容

全車両、コネクタ付の長さを変更した対策品の配線に交換する。

識別

ルノー社指定ステッカーの E3 欄に油性インキにて「×」印を記し、原動機室内に貼付する。

ルノー社指定ステッカー：

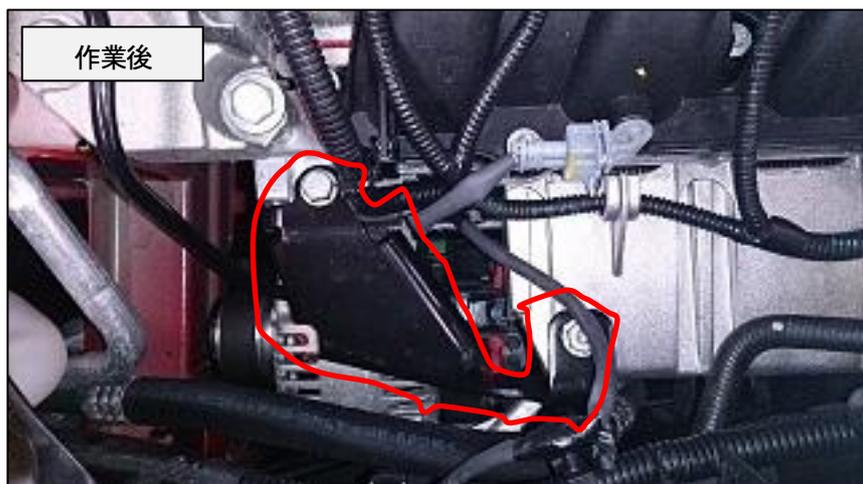
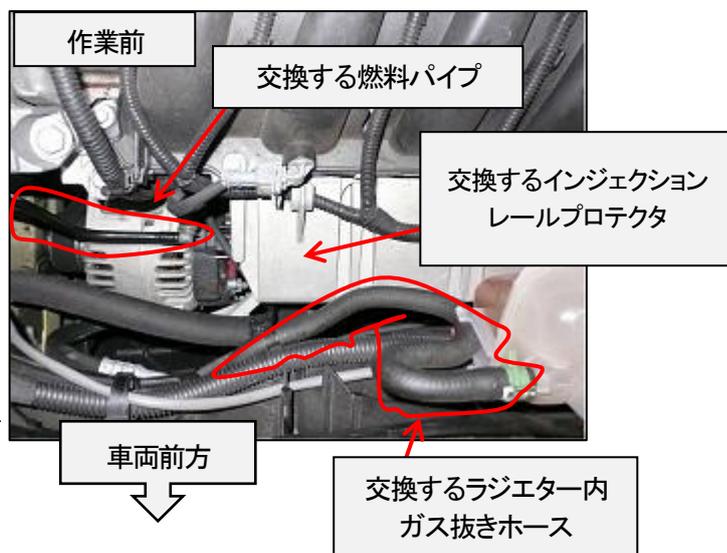
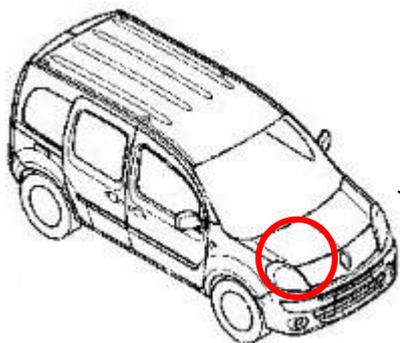
寸法：縦 7cm、横 7cm
色：青地に黒字で印刷

	1	2	3	4	5	6
A						
B						
C						
D						
E			×			

RNF 2008 0030 001 070

改善箇所説明図

③ 燃料パイププロテクタ A



原動機室内に燃料パイププロテクタが装着されていない車両について、衝突時の燃料漏れのおそれをより少なくするため、燃料パイププロテクタを追加する。(基準不適合ではないが、安全性向上を目的とするもの)

改善措置の内容

原動機室内に燃料パイププロテクタが装着されていない車両について、燃料パイププロテクタを追加するとともに、燃料パイププロテクタの取り付けに対応したインジェクションレールプロテクタに交換する。また、この措置に対応した適切な取り回しとなるようラジエター内ガス抜きホース及び燃料パイプを対策品に交換する。

識別

ルノー社指定ステッカーの E1 欄に油性インキにて「×」印を記し、原動機室内に貼付する。

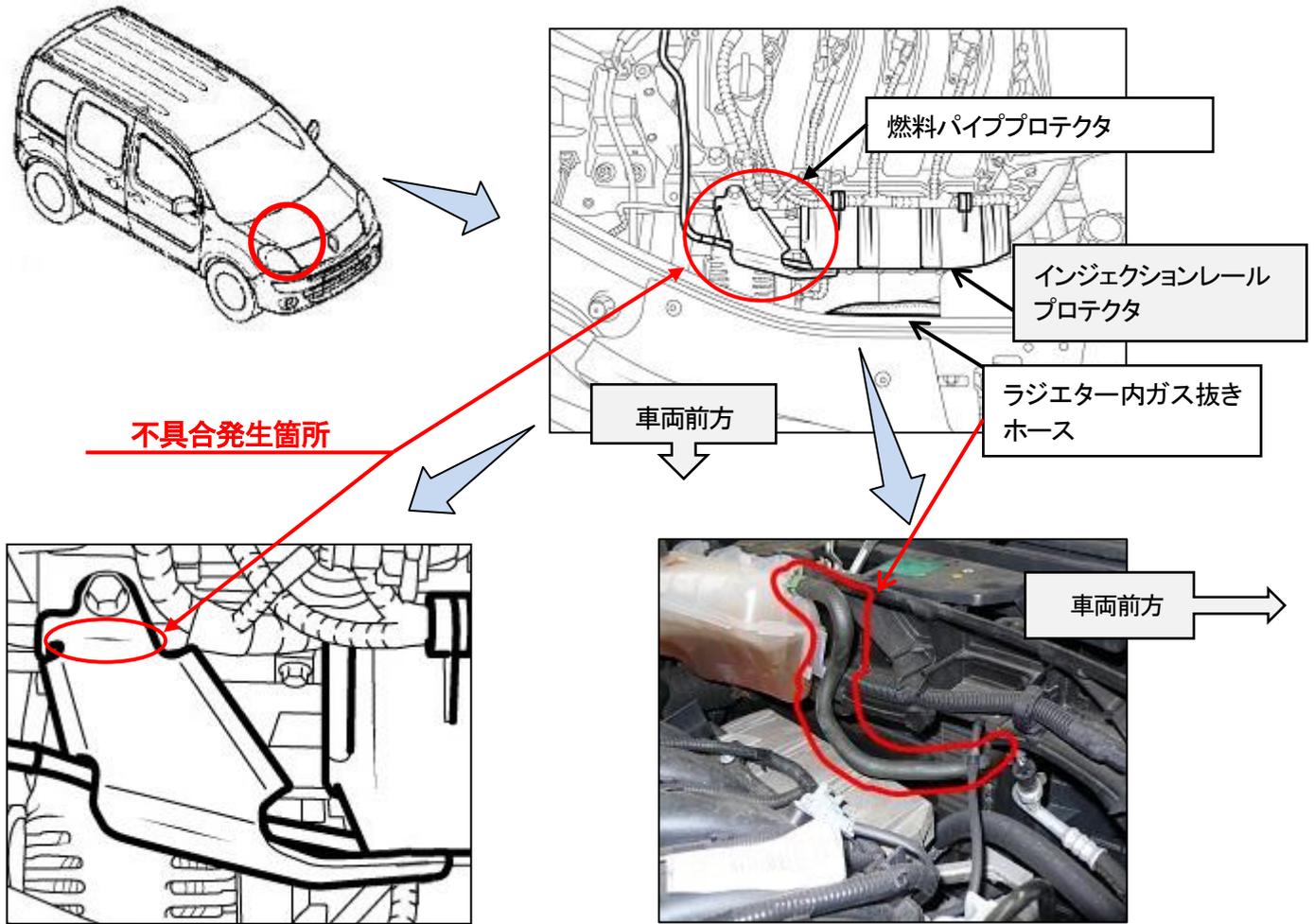
ルノー社指定ステッカー :

寸法: 縦 7cm、横 7cm
色: 青地に黒字で印刷

	1	2	3	4	5	6
A						
B						
C						
D						
E	×					

改善箇所説明図

④ 燃料パイププロテクタ B,C



不具合発生箇所

車両前方

ラジエター内ガス抜きホース

車両前方

原動機室内に燃料パイププロテクタが装着されている車両について、固定方法が不適切なため、エンジン振動との共振によって、固定部分付近が破断して脱落するおそれがある。

注: は不具合部品を示す。

改善措置の内容

原動機室内に燃料パイププロテクタが装着されている車両について、固定点を1ヶ所から2ヶ所に増設した対策品の燃料パイププロテクタに交換するとともに、固定点を新設した対策品のインジェクションレールプロテクタに交換する。また、ラジエター内ガス抜きホースがこの措置に対応していない車両(平成24年4月以前に製作されたもの)については、適切な取り回しとなるよう対策品に交換する。

識別

ルノー社指定ステッカーの E1 欄に油性インキにて「×」印を記し、原動機室内に貼付する。

ルノー社指定ステッカー :

寸法: 縦 7cm、横 7cm
色: 青地に黒字で印刷

	1	2	3	4	5	6
A						
B						
C						
D						
E	×					